

ソーイング作家の井田ちかこさんが体験

JUKIの最新版ロックミシンはココがすごい!

どんどん進化するロックミシン、「いつかは欲しい!」「買い替えたい!」という声もよく聞きます。JUKIから新登場のMO-2800はスゴイとの噂。さっそく使い勝手をレポートします!

取材・文/N編集室 撮影/岡 利恵子(本社)



デザイン、いいですね。
カッコいい!

へー、ここに!?
すごく便利

あ! たしかに
縫いやすい...



これがあれば
両手使えますね!



静音、収納、ひざ上げレバー
使う人のことを考えた逸品

井田ちかこさん

「laetoli ソーイング教室」を主宰。ていねいな暮らしぶりで雑誌にも登場。本誌で新連載「井田ちかこさんのワードローブを手作りで」をスタート。

井田さんが使っているロックミシンは10年選手。今回の新機種体験のお誘いに、「すごく興味あります!」と大乗り気で参加してくれました。操作方法の説明を聞き、さっそく縫い出したところ、まず何より驚いたのはその静かさです。

「静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

「いろんな布を試し縫いしましたが、ほいちいち糸調子をとらなくても、ほぼ自動で美しい縫い目が生み出される様子が感心しきり。なかでも実感したのはカーブの縫いやすさ。」

「あ、そうか、針とメスの間が近いん

です。静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

「静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

「静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

「静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

「静かというか、軽快というか……。振動もほとんどないんですね。これなら夜でも気兼ねなく使えそう!」

4本ロック



3本ロック



縫い目が
きれいです~



使いやすさの秘密を詳しく解説します!

JUKIの開発の知恵を結集して生まれたMO-2800。

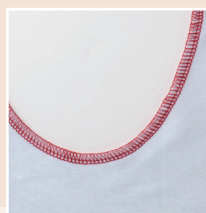
どこがどう今までのロックミシンと違うのか、マーケティング担当の矢野さんに教えていただきました。



マーケティング担当
矢野さん

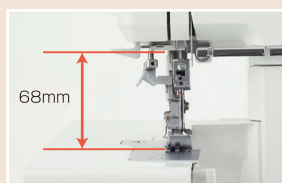


カーブがはずれにくくて縫いやすいんです



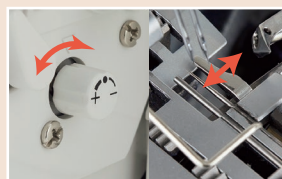
カーブは生地がはずれやすく難しいが、「メスと針の距離が業界でいちばん狭くなり、各段に縫いやすくなりました。通常の押えにくらべて短い小回り押えを併用すれば、初心者さんでもきれいに縫えます」。

針もとスペースがめっちゃ広いんです



「針もとの高さは68mmあって業界トップクラス。布の取り回しがしやすく、これが縫いやすさにつながります」。針右側のスペースもスッキリしていて、実に見やすい。

糸余りや布のカールも解消できるんです



糸が余った状態(写真右NG)や、布がカールされた状態は改善しにくいですが、「これだけをピンポイントで調整できるかがり幅微調整機構がついています。これはJUKIの特許です」。



巻き縫いの設定がとっても簡単なんです



巻き縫いはハンカチの縁どりや洋服の裾上げなどに重宝ながら、設定が難しいと敬遠されがち。「この機種は3ステップで巻き縫いOKですから本当に簡単。ぜひ挑戦してください」

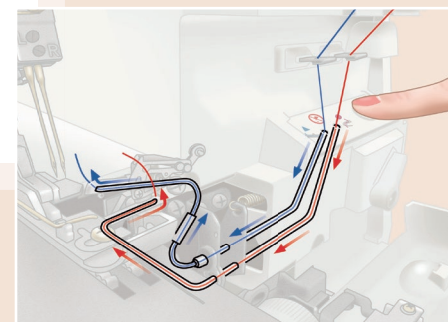


マグネットに針がくっつけられます



「ミシンの上部の左右2カ所がマグネットになっているので、針替え時の針の置き場所としてとても便利です」。ぴったりくっついて落ちたりしないので、安全性もばっちり。

糸通しが電動モーターで自動でできちゃいます



「上下のルーバー糸は『イージースレッダー』といって、電動モーターから送られる強い風で1回で簡単に通ります」。針糸にも自動糸通しがついていて、糸通しのストレスなし!

布くずを受ける箱がついているんです



ロックミシンは切りくずの始末が必要ですが、「本体にぴったりセットできるくず受け箱がついていて、切った端からキャッチしてくれます」。散らばる心配もなく、捨てる時もスムーズ。



価格: ¥191,400(税込み)

サイズ: 幅350×高さ340×奥行310mm

重量: 10.0kg(本体)

お問い合わせ先: JUKI株式会社

https://www.juki.co.jp/household_ja/

お客様相談室 ☎ 0120-677-601